

病理検査部門

精度管理事業部員：柚木 浩良
(公立陶生病院：TEL:0561-86-0567)

I. はじめに

本年度は、病理検査における基礎的な手技や病理組織学の基礎的事項、日常業務に必要な知識を問うフォトサーベイを実施した。また、病理検査の基礎的染色法であるヘマトキシリン・エオジン染色(以下HE染色)の染色サーベイを評価対象外として同時に実施した。

II. 対象項目

1. フォトサーベイ(評価対象10問)
2. HE染色サーベイ(評価対象外)

III. 参加施設数について

病理検査部門への参加は55施設であった。

IV. 評価基準

設問1～10について評価を設定した。

正解をA、不正解をCと設定し評価した。

評価基準

評価 A	正解	「基準」を満たし、極めて優れている
評価 C	不正解	「基準」を満たしておらず、改善が必要

V. 調査結果

設問1～10の正解および正解率を示した。

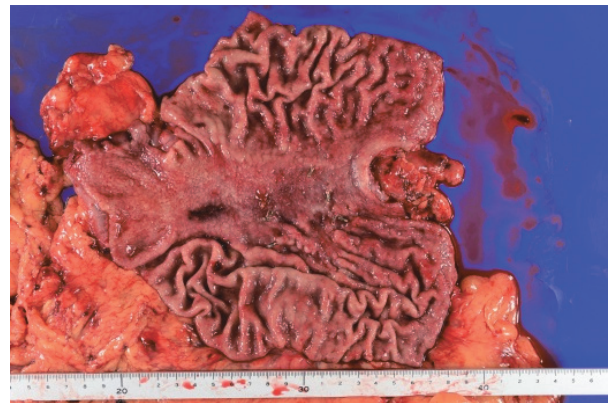
正解

	正解	正解率
設問1	⑤ E	98.2%
設問2	③ 心臓	100%
設問3	① 腎臓	100%
設問4	④ (A-c)(B-b)(C-a)	94.5%
設問5	① 脱脂不足	100%
設問6	② 表面脱灰	100%
設問7	① 核	100%
設問8	① グロコット染色	100%
設問9	② B、C	100%
設問10	③ 急性毒性(高毒性) を示すシンボルマーク	100%

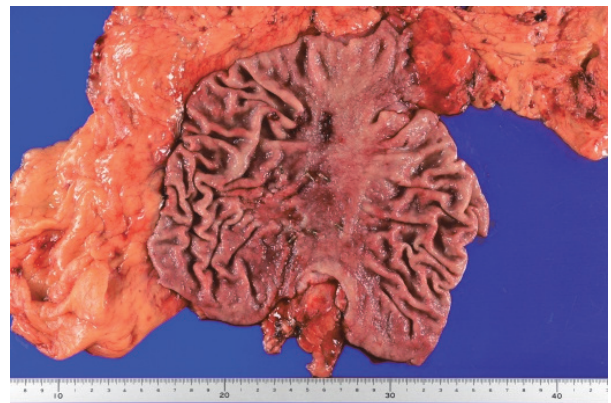
VI. 解説および考察

【設問1】

未固定臓器の写真です。正しい写真の撮り方はどれか選択してください。



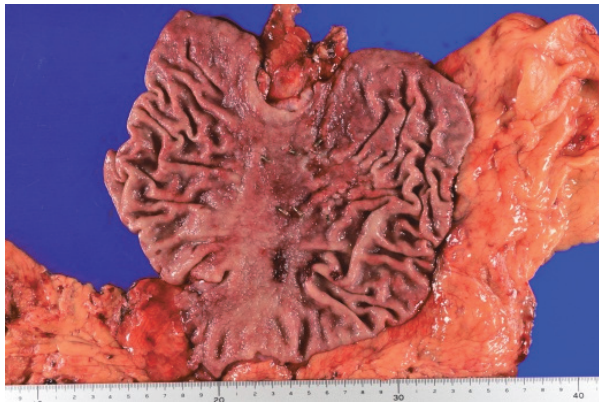
A



B



C



D



E

① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

設問 1

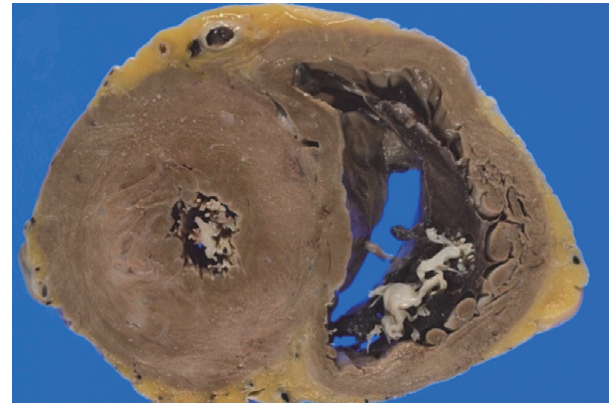
	回答施設数	回答率%
① A	1	1.8
⑤ E	54	98.2

〔正解〕 ⑤ E

写真の臓器は胃で、大彎切開してある。撮影方法は、胃の口側(近位側)を右側、肛門側(遠位側)を左側に置く。Aはスケールや背景板に余分な血液が付着している写真である。いかなる症例報告にも適用できる美しい写真を記録しておくべきである。臓器を撮影する直前にもう一度余分な血液など付着していないか確認し、残っている場合は拭き取っておく。

【設問 2】

固定後の切り出し写真です。この臓器名を選択してください。



①腎臓 ②膀胱 ③心臓 ④脾臓 ⑤脾臓

設問 2

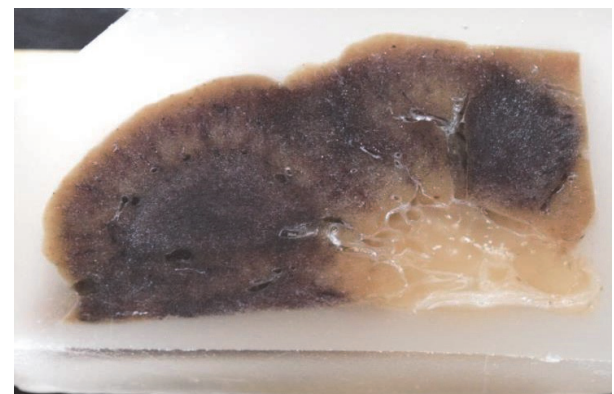
	回答施設数	回答率%
③ 心臓	55	100

〔正解〕 ③心臓

写真はホルマリン固定後の心臓である。心臓の切開は、心室下半分を水平断面とし、上半分と心房を流入路から流出路に沿って切開する方法が一般的である(心奇形を除く)。写真は心室の水平断面で左側が左心室、右側が右心室である。心臓壁の構造は、心内膜・心筋層・心外膜の3層からなる。心内膜は心臓の内面を被い、単層の内皮細胞と薄い結合組織層からなる。心筋層は心筋線維からなる厚い層で、心臓壁の主部となる。心外膜は心臓の外面を被う漿膜である。

【設問 3】

パラフィンブロックの写真です。この臓器名を選択してください。



①腎臓 ②肝臓 ③脾臓 ④脾臓 ⑤舌

設問3

	回答施設数	回答率%
① 腎臓	55	100

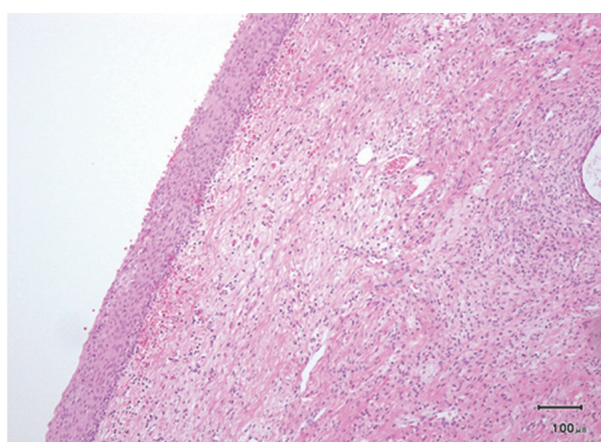
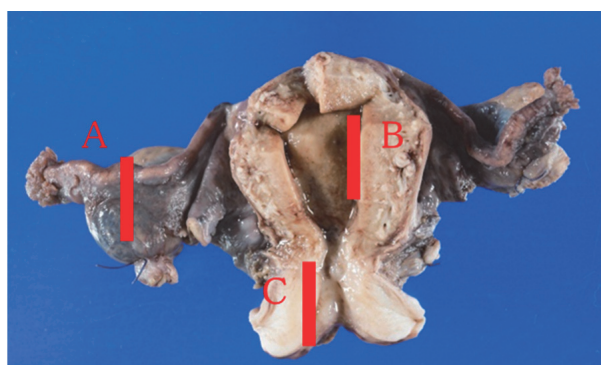
〔正解〕 ① 腎臓

この写真は、腎臓のパラフィンブロックである。茶褐色の部分は腎臓の実質で、白く見える部位は腎盂である。実質部分は皮質と髄質に分けられ、皮質は尿を生産する腎小体とそれに付属する尿細管より成り、髄質は尿細管と集合管より構成される。腎実質から腎乳頭が突出したところに腎杯を形成し、その腎杯が集合した部分が腎盂である。

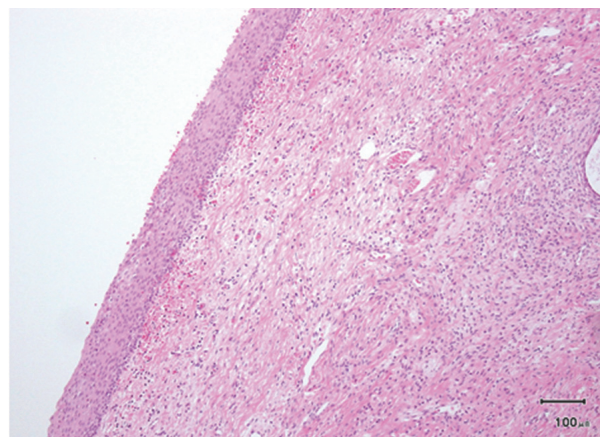
尿は腎小体でつくられ、それに付属する尿細管に流入する。尿細管は合流も分岐もせず集合管に続く。この腎小体と尿細管を腎臓の機能単位とみなし、ネフロンと呼ぶ。その数は片側の腎臓に100～150万個あると言われている。

【設問4】

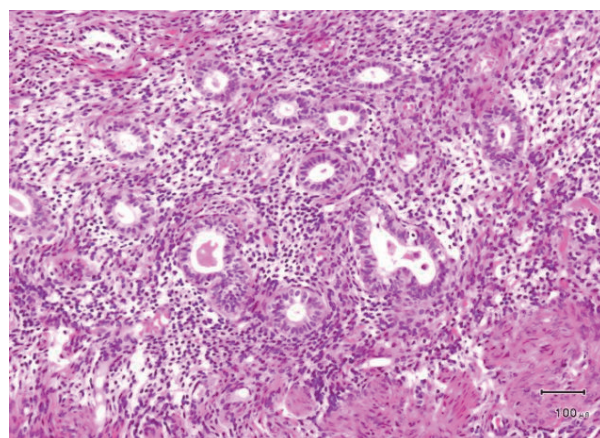
固定臓器の剖面肉眼写真です。臓器に示すA～Cの部位とHE染色像a～cの組み合わせで、正しいものを選択してください。



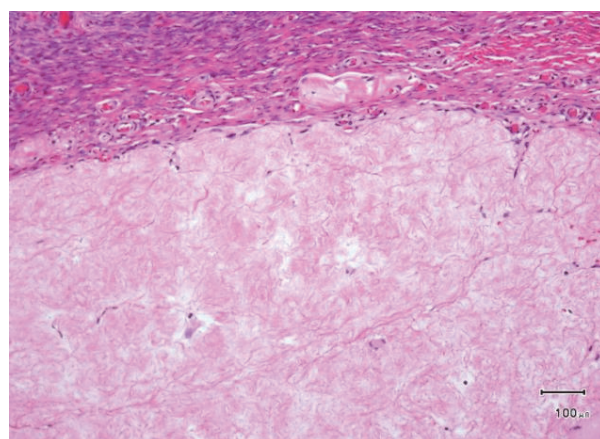
a



a



b



c

- ① (A-a) (B-b) (C-c)
- ② (A-c) (B-a) (C-b)
- ③ (A-b) (B-c) (C-a)
- ④ (A-c) (B-b) (C-a)
- ⑤ (A-b) (B-a) (C-c)